

令和8年7月25日

令和8年度つながる鎌倉エール事業スタートアップコース 選考結果報告書

事業名		審査項目							合計	結果
		事業の公益性	事業内容	目的の設定	事業提案の実現性	費用の妥当性	継続性 発展性 将来性	先駆性 専門性		
1	鎌倉からはじめる 地球にやさしい衣服の直し方 教室(脱炭素かまくら)	3.0	2.8	2.8	2.8	2.6	2.6	2.6	19.2	×
2	地域安心 イベント救護ナースステーション事業 (キャンパス鎌倉)	4.8	3.6	4.0	3.8	3.4	3.6	4.6	27.8	○
3	LOVE is ACTION 鎌倉から広げる献血 & 骨髄ドナー登録(かまくら献血部)	4.8	3.8	4.0	3.6	3.8	4.2	4.0	28.2	○
4	鎌倉みんなの在宅避難プロジェクト (特定非営利活動法人 ひなサポ鎌倉)	4.6	3.8	3.8	3.6	3.6	3.4	4.0	26.8	○

※合計が21点以上の場合に審査選考を通過とする

鎌倉市市民活動推進委員会選考部会からの講評

1 鎌倉からはじめる 地球にやさしい衣服の直し方教室（脱炭素かまくら）

衣服のお直しを通じて興味関心がある人が集まれる「拠点」を作ろうとする活動は、「衣類を捨てず長く使う社会」を実現するための、地域での体験の場を確保する取り組みとして、非常に良い視点である。

しかし、団体が掲げた地球規模の課題である「脱炭素」という目標に対し、提案事業の「衣服の直し方教室」は、どのように参加者の意識や行動の変容を促し、目標達成に結びつくのか、その道筋が見えにくい。必要によっては、衣服のお直しという手段だけでなく、「無駄をなくす」視点や「捨てない＝交換する」といった考え方など、別の角度からのアプローチも含めて検討し、既に環境問題に取り組んでいる市内企業との情報連携や、子育て層・若者世代に対する周知啓発など、NPOセンターを活用しながら、団体としての事業の方向性や意義を明確にすることを期待したい。

2 地域安心 イベント救護ナースステーション事業（キャンナス鎌倉）

活動メンバーが現役の看護師等の有資格者であり、自発的に地域に貢献しようとする熱意を持った活動は、行政や企業では代替できない非常に重要なエネルギーを持ったものである。

医療・救護に関わる以上、自発的な活動であってもリスクを避けることはできない。主催者との責任範囲の明確化などの仕組み作りが不可欠である。

事業の実施にあたっては、医療大学や病院、地縁組織との連携をはかりつつ、イベント主催者から適正な対価を受け取る方法を模索するなど、今後の持続可能な運営体制の構築につなげてほしい。

今回の事業が、団体が掲げる健康への不安から外出を控える高齢者等が安心して出かけられるような地域を支えるインフラとしての役割の確立に向けた第一歩となることを期待する。

3 LOVE is ACTION 鎌倉から広げる献血&骨髄ドナー登録（かまくら献血部）

市内に日常的な献血の場が少ないという課題に着目し、献血と骨髄ドナー登録の普及啓発を行いながら献血の機会を増やすことを目的とした極めて公益性の高い事業である。

事業の性質上、収益化ができない分野であるため、補助金のみに頼らない資金調達の仕組み作りや、ターゲットとする若者層に働きかけるためのノウハウ等の収集が今後の活動を進めるうえでの課題である。

今後は、NPOセンターから情報提供や相談等の伴走支援を受けながら、日本赤十字社などの関連組織や教育機関とも連携していったほしい。市内全域にネットワークを広げることで、地域に根付いた持続可能な活動として発展していくことを期待する。

4 鎌倉みんなの在宅避難プロジェクト（特定非営利活動法人 ひなサボ鎌倉）

災害時の在宅避難者や避難行動要支援者を専門的な知見から支える活動は、行政の手が届きにくい部分を補うものであり重要である。

講演会等の取り組みは、現場の市民が自らの活動としてどう動くべきかという「地域への落とし込み」に結びつくよう、専門的な講義にとどまらない工夫が求められる。事業を通して、専門知識を市民に分かりやすく伝えられるよう「在宅避難プロジェクト」の具体的な仕組みを整理してほしい。

専門家の知恵を「地域の力」へと変換することで、共に支え合う実効性のある仕組みを構築していくことを期待する。